

光慶

(門徒会報)

令和2年7月1日 発行

第 82 号

高岡市中川1-6-8

光慶寺門徒会

☎ 0766-22-3243

FAX 0766-30-4610

「新型コロナに験(ため)されている」

第二十四世住職 嵯峨 了導

今年の流行語大賞は、おそらくコロナ関係の言葉が選ばれるような気がするほど、その影響は多方面で、しかもはっきりとした終息点が見えず、一日も早く治療薬が開発されることを願うばかりです。

騒ぎはデマから始まり、いろんなものが一時的に物不足になり、それを巡っての争奪戦や値段のつり上げから果てはまがい物まで登場して、商魂たくましいというより倫理や道徳よりこの際儲けなくてはという、人間の持つ負の部分が透けて見えます。

新型コロナ(インフルエンザ)感染症は重症化するととても怖い病気ですが、正しく知ることにより理性的に心身ともに対応することが賢明だと感じています。

三密というのは密閉・密集・密接の3つの条件がそろう場所なのでそもそも屋外は対象にならないのに、公園で遊ぶ子供たちに批判の目が向けられたり、予防効果はないと言っていた厚労省がしきりにマスクの着用を奨励したりと世論によって元の意味がゆがめられています。

もうみなさん忘れていたかも知れませんが、昨年季節性のインフルエンザで1,000万人を超え

る人が感染し、3,000人以上が亡くなりました。予防接種を受け治療薬があるのにです。

この事実を理解した上でも、まだ医療や介護に従事する方や新型コロナに罹患した人を差別したり、非難する人がいるのでしょうか、ある国ではこの病が癒えて自宅に帰ってきた人を近所の人たちが笑顔でむかい入れていた光景を見ましたがこれが普通の対応でしょう。体の傷や病気は治療できますが、心に受けた冷たく厳しい眼差しは一生忘れることはできないのです。

今、私たちは新たな病気によってそれぞれの心のありようが験(ため)されているのです。

合掌

光慶寺ホームページ
koukeiji.net または
光慶寺 高岡市 で
検索してください

—光慶寺門徒会研修旅行記—

実施日:令和元年11月13、14日 金瀬 隆

門徒会恒例の研修旅行は、昨年11月に一泊二日の日程で行われ、参加者19名は糸魚川市の笹倉温泉で一泊し、ヒスイの展示場なども見学してきました。

初日は、午後2時に観光バスで光慶寺を出発。小杉ICから高速道路に入り、途中有磯サービスエリアで休憩し、糸魚川ICで一般道路へ。バスは日本海沿いから山手に向かって走行、午後4時ごろ宿泊先の笹倉温泉龍雲荘に到着しました。



温泉は、江戸中期の享保年間に開湯した歴史を誇り、重炭酸ナトリウムの含有量が豊富で、美肌の湯として観光客に親しまれている。客室に案内され、浴衣に着替えて部屋でくつろいだり、温泉に入ったりして体を休めました。夕食会では、糸魚川名物あんこうのから揚げや新潟産豚肉のポーク焼き、新鮮な造りなど、おいしい料理をいただき、お酒を酌み交わしながら楽しい一夜を過ごしました。

二日目は、朝から小雨が降るあいにくの天候でしたが、最初に糸魚川市内の谷村美術館と玉翠園を見学。シルクロードの遺跡をイメージして造られた美術館は建築界の巨匠、村野藤吾氏の設計で、館内には彫刻家、澤田政廣氏制作の数々の木彫作品が展示されており、素晴らしい芸術作品に感動した。また、隣接の玉翠園は糸魚川の景色に溶け込んだ日本庭園で、手入れが行き届いた美しい光景に、まるで絵画を見ているようでした。

その後、ヒスイなどの資料を展示したフォッサマグナミュージアム(地球博物館)を見学しました。糸魚川地域は日本最大のヒスイ産地で、糸魚川の川や海で発見されたヒスイの原石をはじめ、国内や世界のいろいろな化石が時代別に展示されており、大変興味深かった。フォッサマグナシアターでは、床と壁が一体となった大型ディスプレイで、日本列島やフォッサマグナの成り立ちを体感することができました。

見学を終えた後、午前11時30分にバスで出発。途中、宮崎鉱泉でタラ汁の昼食を予定していたが、予約が入っておらず準備ができないと言われ、楽しみにしていた皆さんはガッカリ。そんなハプニングもありましたが、その後、黒部市生地の「魚の駅」へ向かい、レストランで刺身定食をいただきました。「魚の駅」は、朝とれた魚介類を販売する直売所で、食事のあと、買い物を楽しみ帰路に着きました。

… 念仏に生かされるよろこびを行動に。 …

光慶寺仏教壮年会活動再開について

仏壮会員 富永 誠

休会しておりました当寺仏教壮年会(以下、仏壮)は、2019年度門徒会総会での承認を受けて活動再開致しました。

2月24日に行われた高岡教区仏壮(ぶっそう)ボウリング大会では、2チームがエントリーし優勝を目標に、皆一丸となり汗を流してきました。当日は26チームで総勢100名を超える大勢の方が参加されており、Aチームは健闘したもののわずかの差で惜しくも準優勝でした。またBチームは7位と再開して初めてのイベントとしては、上々のスタートであったように思います。

今後は悲願の優勝を願うボウリング大会を始め、7月の永代祠堂経や10月の報恩講での活動を通して、徐々に会員を増やせていけたらと念願いたしております。再開に向けて始まったばかりの仏壮です。一步一步と確かな歩みを続けていきたいものです。

祠堂法要ご案内

令和2年

7月15日(水)

午前 10時00分 お日中(読経)

10時30分～11時30分 お説教

7月16日(木)

午前 10時00分 お日中仏婦兼修(読経)

10時30分～11時30分 お説教

※布教(お説教)

圓光寺住職 村井 敬成 師

仏教婦人会だより

この度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、毎年行われている総会も中止になりました。毎日ニュースはコロナウイルスの事ばかりで心が痛みます。こうしていても日が経つばかり坊守さんと婦人会で何かをして皆様に



元気になってもらおうと相談してました。そこで今の季節、光慶寺の竹やぶにたくさんの竹の子が育っているとの事、収穫した新鮮な竹の子を使ってお弁当を婦人会の皆様へ届けようという事になり少人数の婦人会の方とお弁当を作り届けました。

今後早く新型コロナウイルスが終結する事を願ってやみません。

皆様もご自愛ください。

★注 遠方の方とお留守の方にはお届けできませんでした。

令和2年度 行事予定

7月16日(木) 光慶寺仏婦定例会 祠堂経

8月下旬 高岡教区仏婦寺女
合同実践運動研修会(高岡会館)

10月10日(土) 光慶寺仏婦定例会 報恩講

12月28日(月) お楽しみ会(餅つき、ぜんざい…)

“仏婦会員募集中です”

みんなが楽しく集まって、そっとつながって、ホッがつたわる会にしませんか!!お待ちしております。

○ 祠堂等の申し込み等は事前に教えていただきましたら有難いです。

「和慶」の寄稿について

発刊して、82号を迎えました。これからもご門徒さん相互の繋がりを大切に親しめる会報にしたいと思っております。
・地域の話 題・旅行記・俳句・短歌・随筆等お寄せください。 …光慶寺宛